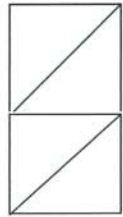


内部監査の業務目的が達成されたかどうかを判断するのは、次のうちの誰か。

Rank
A



- a. 内部監査人
- b. 監査委員会
- c. 内部監査の監督者
- d. 内部監査部門長 (CAE)

内部監査部門長（CAE）は、監査目的が達成されているかどうかの判断を含む、監査業務の監督に責任がある。正解はd。

内部監査人が特に指示された場合には、内部監査人も責任を持つ場合があるが、本源的責任ではないのでaは誤り。監査委員会には、年間監査計画の目的が達成されているかどうかを判断する責任があるが、個々の監査目的に関する責任はないのでbは誤り。また、内部監査の監督者が特に指示された場合には、内部監査の監督者にも責任があるが、本源的責任ではないのでcも誤り。

解答

d